



由美 みわ よしみ

日本共産党千葉県議会議員
(松戸市)

2016年 12月号 県議会報告

(事務所)

270-2252 松戸市千駄堀 1810-2

電話 047 (349) 1544

http://www.miwa-3838.jp/



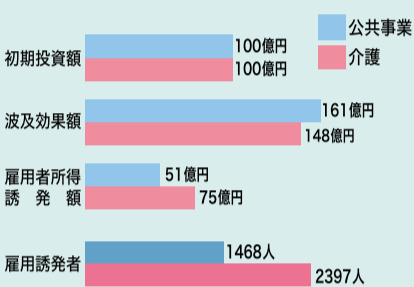
日本共産党

みわ由美県議が、本会議で質問

憲法改悪やアベノミクス、県施設の廃止問題などを質し、足りない保育所増設や県重度障害者医療費助成制度の拡充を要求。松戸市内のパチンコ出店計画をとりあげ、子どもと住環境守れと、通学路規制の県条例改正を提案しました。ねがい実現へ、がんばります。

経済波及効果 「介護」は「公共事業」より 所得1.5倍 雇用1.6倍も大きい

「公共事業」と「介護」の経済波及効果の比較



この間、莫大なお金をつぎ込んだ「かずさアカデミアパーク」は破たんし、幕張メッセは、税金での赤字穴埋めが続ぎ、50億円もの補助金を約束したIPSアルファテクノロジは、一人の正社員も雇わず5年で休止しました。こうした工業団地造成と巨大道路建設などの「大企業呼び込み型」とは決別するべきです。

左のグラフをご覧ください。「介護」は「公共事業」と比べて、所得でも、雇用でも、経済効果が大きくなっています。経済活性化のためにも社会保障に力を注ぐべきです。

景気対策の力ぎは、大企業呼び込み型ではなく
県民が安心して消費できるようにすること

群馬県に建設中のハツ場ダム。事業費が4600億円から5320億円に増額し、千葉県の負担は63億円も増えて464億円にもなります。今後、ダム湖の地滑り対策などでさらに膨らむと言われています。水道使用量は減り続けています。利根川上流のダムは、都市河川の氾らん、ゲリラ豪雨対策に効果はありません。ダム本体建設からの撤退を含めた抜本的な検討が必要です。

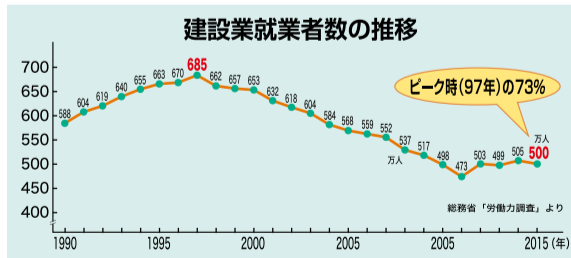
水余り、洪水対策効果なし
ハツ場ダムに63億円も追加

景気を冷や込ませた消費税増税や、格差と貧困を拡大したアベノミクスで庶民の暮らしは大変です。ところが森田知事は「県内経済は緩やかな回復基調が続いている」と言い張り、あまりにも県民の実感とかけ離れています。日本共産党は、大型開発の浪費を改めて、雇用を守り、家計を温めるよう求めました。

若者の雇用や、高齢者福祉にも
効果が及ぶ経済政策への転換を提起

公契約条例をつくり
下請け労働者の暮らしを守れ

減り続けている建設現場の労働者。打開の道は、技能にふさわしい賃金引上げや、社会保険への加入促進です。県内の、ある公共工事の下請け現場では、国基準より3割から5割も安く働かされています。まともに暮らし、安心して働けるよう公契約条例の制定が急がれます。



オスプレイ はいらない

木更津駐屯地での 定期整備やめよ



木更津基地に初飛来したオスプレイ
(2016/10/24)

安保法制と連動して来年1月から木更津駐屯地で沖縄米海兵隊オスプレイ24機の定期整備が始まります。今後、陸上自衛隊

17機も木更津で行う計画です。同機は、1991年以降、10回を超える重大事故を起こし、38人も亡くなっています。昨年5月、ハワイでエンジンが砂埃を吸い込み墜落。いまだに改善されないまま飛んでいます。

国言いなりの森田知事

11月13日、「オスプレイはいらない」と1300人が集まりました。地元は、ていねいな説明や、安全・騒音対策などを求めています。国はこうした声に耳を貸さず、知事も「国は要望に沿った対応がなされる」などと、容認の姿勢です。



高橋たえ子
(市議会議員)

うつの史行
(市議会議員)

高木 健
(市議会議員)

山口 正子
(市議会議員)

平田きよみ
(市議会議員)

みわ由美県議といっしょに住みよい松戸市をめざします